



マンションフォーラム

川口市防災体制認定 マンション制度について

埼玉県川口市危機管理部 危機管理課



- ①防災体制認定マンションについて理解を深める
- ②マンションで生活するうえでの共助を知る



1. 防災対策

- (1) 地域の共助について
- (2) マンションの共助について

2. 防災体制認定マンションについて

- (1) 認定の制度概要
- (2) 認定基準について
- (3) 認定を受けるメリット
- (4) 認定を通して伝えたいこと

3. 緊急地震速報の改訂 長周期地震動について



1. 防災対策

1. 防災対策

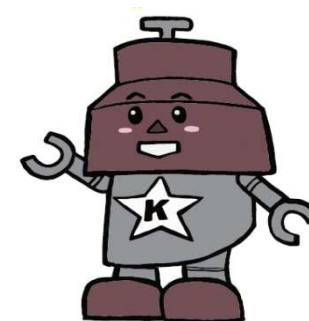


たたら祭り(流し踊り)



1. 防災対策 (1)地域の共助について

過去の震災の被災者の多くが、
「**普段からの備えが大事**」
だと語っています。







1. 防災対策 (1) 地域の共助について

平成7年1月17日、午前5時46分「阪神淡路大震災」… 死者約6,400人

地震発生直後、
各消防署に通報や
駆け込みが殺到

でも…

- 人員や資機材が追いつかない
- 倒壊した建物で道路が寸断されて現場に急行できなかった
- 火災の現場では断水のため、消火用の水を確保できなかった。

生き埋めや建物などに閉じ込められた被災者のうち

「自力で」
「家族や近隣の人々によって」
救助された人

⇒全体の97.5%

消防などの専門の救助隊により
救助された人

⇒全体の僅か1.7%



1. 防災対策 (1)地域の共助について





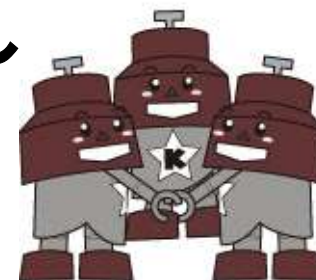
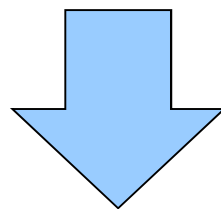
1. 防災対策

(1) 地域の共助について

共助

みんなで助け合う！
～地域で取り組む備え～

～自分たちのまちを
自分たちで守る～



マンションにおいても
同じことが言えます！

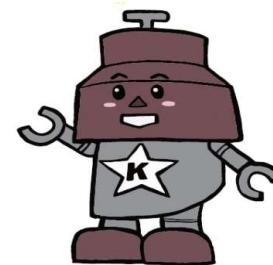
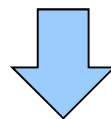


1. 防災対策 (2) マンションの共助について

マンションにおける共助の考え方

マンションの特殊性(傾向)

- ・一般の居宅とは違い地域との関係性が希薄になりやすい
- ・日々のコミュニケーションが隣人同士でもとれていないことがあり、協力体制を構築できていない



災害時にもうまく地域や近所で連携が取れない可能性が高い



1. 防災対策 (2) マンションの共助について

そこで重要になるのが・・・

マンション防災組織

マンション防災組織に期待する役割

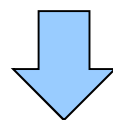
- ① マンション内での防災体制の構築
- ② 結成し活動していくことでマンションの住民間での関係性の向上
- ③ 災害時に関係性が構築できていない場合マンション住民と自主防災組織をつないでいく



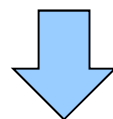
1. 防災対策 (2) マンションの共助について

マンションにおける共助体制の構築

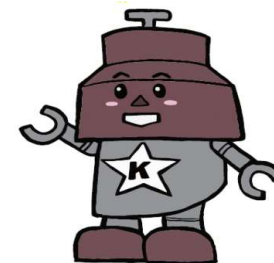
それぞれが住んでいる地域の防災体制が必要
→ 町会・自治会への距離が遠ければその間の存在を！



防災体制 ≠ 町会・自治会
→ 町会・自治会(自主防災祖域)だけが防災体制ではない

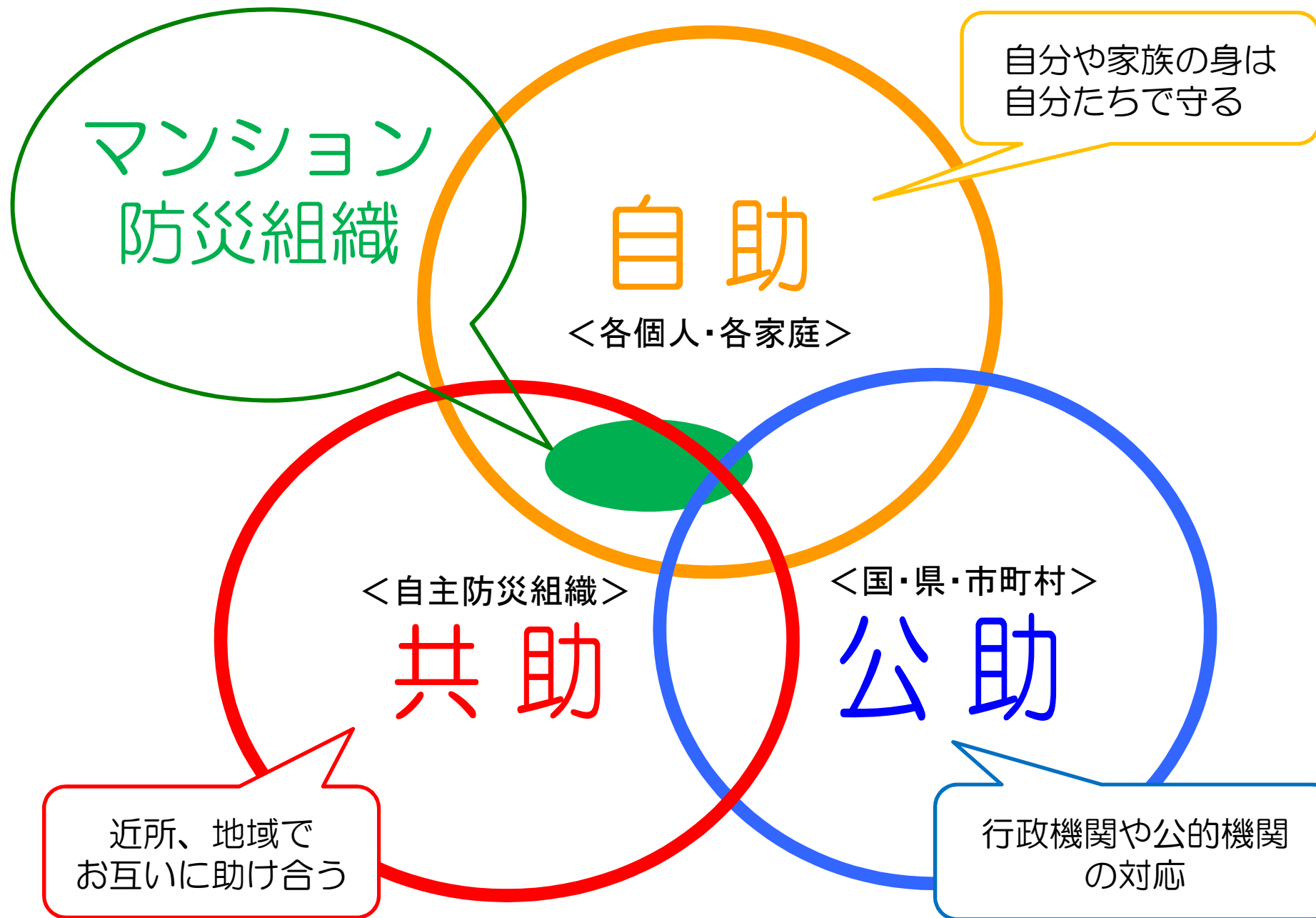


マンションにおける防災体制の構築
→ マンションにおける体制がつなぎ役に





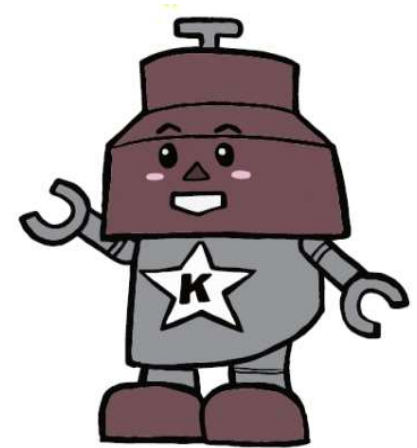
1. 防災対策 (2) マンションの共助について





2. 防災体制認定マンションについて

2. 防災体制認定マンションについて





防災体制認定マンションとは

制度概要①

- 防災体制の必要性の観点と、減災のためマンション毎における防災性能の向上を目的として、防災体制に優れたマンションを市が認定する制度です
- 達成度に応じて「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の3段階の認定基準があります
- 認定を受けると、認定証が交付され、広告等に活用できる「認定マーク」を使用できます



防災体制認定マンションとは

制度概要②

- 希望により認定の内容を市ホームページに掲載が可能です
- 認定の有効期限は2年間です
→2年ごとに更新が必要となります



2. 防災体制認定マンションについて (2) 認定基準について

認定の基準

「ブロンズ」「シルバー」「ゴールド」の段階で下記基準を満たしたマンションに認定を行います。※詳しくは防災体制認定マンション～制度のご案内～を参照

ソフト面(防災体制)	ハード面(施設体制)
①防災組織	⑫耐震性
②防災リーダー	⑬玄関ドア
③防災訓練	⑭エレベーター
④家具固定	
⑤防災備蓄倉庫	
⑥飲料水と食料(備蓄)	
⑦災害用簡易トイレ	
⑧非常用の発電機	
⑨地域の指定避難所との連携	
⑩洪水時の協定	
⑪浸水対策	



2. 防災体制認定マンションについて (3) 認定を受けるメリット

認定を受けることのメリット

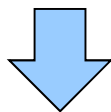
- ・認定を受けたマンションは、公表を希望すれば市の公式サイトに掲載され、防災体制が優れたマンションであることをPRすることができます
- ・広告等に認定マークを使用し、防災体制のPRすることができます
- ・認定を受けることによって結果的にマンション全体の防災力の向上が見込める



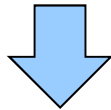
2. 防災体制認定マンションについて (4) 認定を通して伝えたいこと

認定を通して伝えたいこと

認定は目的ではなくあくまできっかけ



防災に完璧(終わり)はない

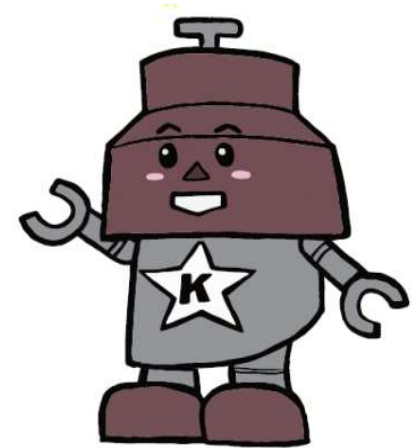


継続的な防災体制の構築が最も重要



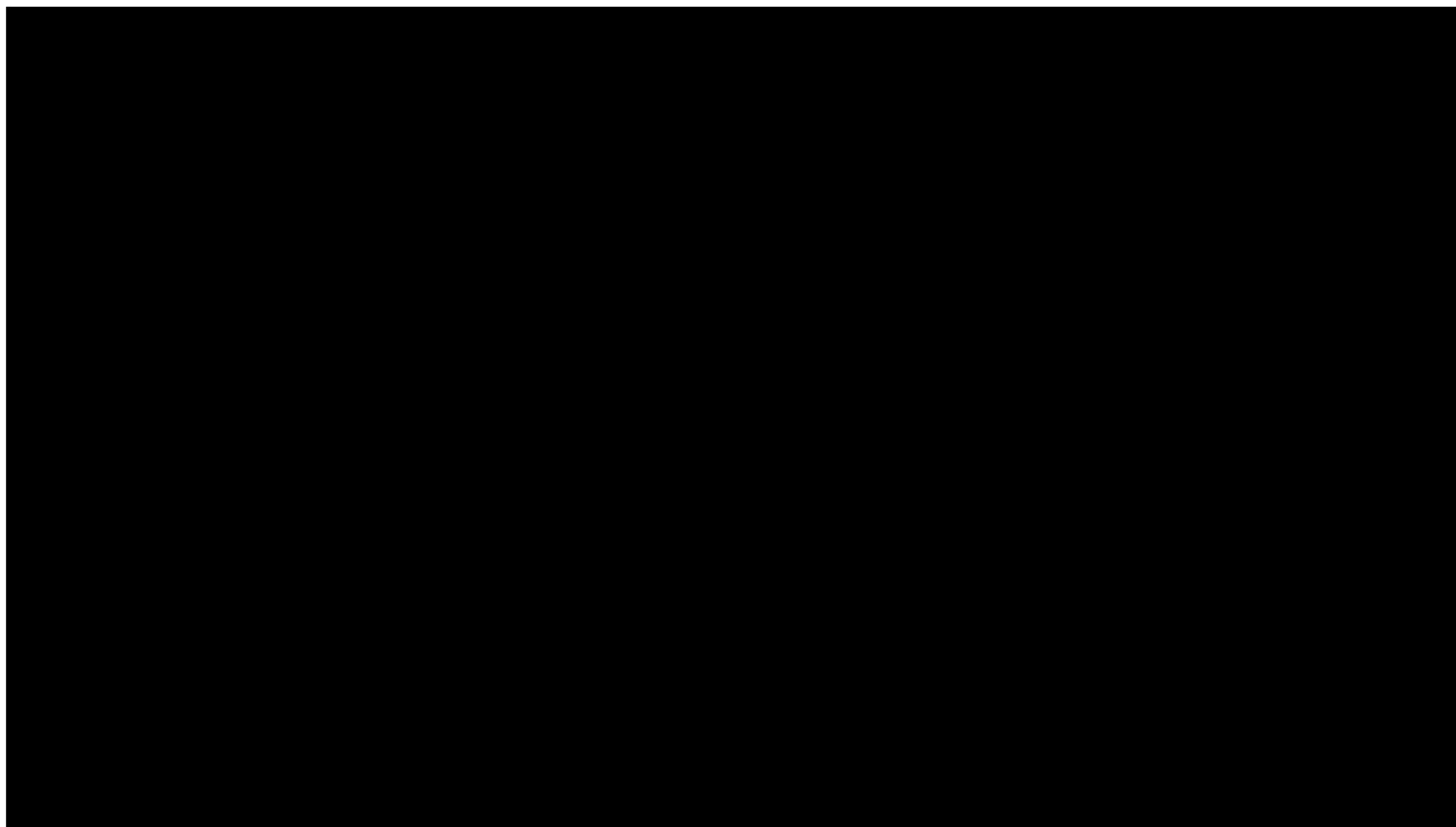
3. 緊急地震速報の改訂

長周期地震動について





3. 緊急地震速報の改訂



出典：気象庁ホームページ (<https://www.data.jma.go.jp/eqrv/data/choshuki/index.htm>)

3. 緊急地震速報の改訂

緊急地震速報の発表基準変更について

令和5年2月1日より気象庁の発表する緊急地震速報(警報)の基準に、長周期地震動階級3以上を予想した場合が追加されることになりました

発表基準	震度5弱以上を予想した場合(従来) 長周期地震動階級3以上を予想した場合(新規)
対象地域	震度4以上を予想した地域(従来) 長周期地震動階級3以上を予想した地域(新規)



3. 緊急地震速報の改訂

各階級イメージ

<h2>階級1</h2> <ul style="list-style-type: none">●室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。●ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。 	<h2>階級2</h2> <ul style="list-style-type: none">●室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。●キャスター付きの家具類等がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 
<h2>階級3</h2> <ul style="list-style-type: none">●立っていることが困難になる。●キャスター付きの家具類等が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 	<h2>階級4</h2> <ul style="list-style-type: none">●立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。●キャスター付きの家具類等が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 

出典：気象庁ホームページ (<https://www.data.jma.go.jp/eqrv/data/choshuki/index.htm>)

長周期地震動とは

- 大きな地震が発生したときに生じる周期(1往復するのにかかる時間)が長い揺れのことを**長周期地震動**といいます。
- 建物には高さに応じて揺れやすい周期(固有周期)があります。高層ビルの固有周期と長周期地震動の周期が一致すると共振して大きく揺れることがあります。
- 長周期地震動による大きな揺れにより家具類が倒れたり落ちたりする危険に加え、大きく移動する危険があります。

要するに…

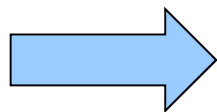


高い建物(マンション等)の上層階が大きく揺れてしまう現象です。

3. 緊急地震速報の改訂

我々の地震対応への影響

- 基本的に長周期地震動階級で緊急地震速報が発表される頻度は少ない
- 長周期地震動階級3以上の場合は震度3以上が観測されることが多い
- **長周期と短周期の地震で取るべき行動に違いはない**

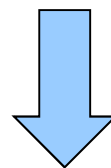


速報の種類は増えてましたが、地震時の従来の対応に原則変化はありません。

3. 緊急地震速報の改訂

まとめ

低層だけでなく高層の建物（マンション等）の上層階が大きく揺れてしまう場合にも速報がでることとなりました。



速報の種類は増えましたが、現行の地震速報と同様身を守る行動をまずは行ってください。



災害が起きていない今のうちに
これから起こりうる
災害への備えを進めましょう

ご清聴ありがとうございました。

川口市危機管理部危機管理課